

DAIFUKU

Automation that Inspires

2026年12月期 第1四半期
(2026年1月1日 ~ 2026年3月31日)

決算説明資料

2026年5月14日

株式会社ダイフク [6383]

2026年12月期 第1四半期実績

- 受注高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも第1四半期として過去最高。
- 受注高は四半期ベースでも過去最高となり、受注残高は7,000億円を初めて超える。
- 生産効率化・コストダウンの進展により、営業利益率は15%超の高水準を維持。

2026年12月期 業績予想

- 上期見通しは、一部案件が前倒しで進捗しているため、売上高・利益とも上方修正。
- 但し、外部環境の不確実性を踏まえ、通期見通しは据え置き。

中東情勢を巡る 事業への影響

- 同地域に生産・販売拠点を有しておらず、売上規模も僅少（前連結会計年度の連結売上高における構成比は0.1%未満）のため、事業への直接的な影響は限定的。
- 原油価格の高騰や国際物流の混乱による一部資材における供給制約・コスト上昇による受注済案件への影響、世界経済の不透明感の高まり等によるお客さまの今後の投資計画の動向に注視。

2026年12月期 第1四半期 実績

受注高

2,213億円

前年同期比

+782億円

+54.7%

半導体生産ラインおよび空港向けシステムが大きく増加し、四半期ベースとしては過去最高。

売上高

1,727億円

前年同期比

+124億円

+7.8%

豊富な前期末受注残高をベースに順調に推移し、増収。

営業利益

262億円

前年同期比

+30億円

+13.2%

増収効果に加え、生産効率化・コストダウン等の進展により収益性が向上し、増益。

営業利益率

15.2%

前年同期比

+0.7pt

01

連結決算

(億円)	2025/12期Q1	2026/12期Q1	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	1,431	2,213	+782	+54.7%
売上高	1,602	1,727	+124	+7.8%
営業利益	232	262	+30	+13.2%
営業利益率	14.5%	15.2%	+0.7pt	—
経常利益	236	265	+28	+12.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	168	194	+26	+15.6%
四半期純利益率	10.5%	11.3%	+0.8pt	—
一株当たり四半期純利益 (円)	45.86	53.03	+7.17	+15.6%

為替レート (円)	2025/12期Q1	2026/12期Q1
米ドル	151.18	156.47
中国元	20.75	22.65
韓国ウォン	0.1037	0.1068
台湾ドル	4.58	4.95

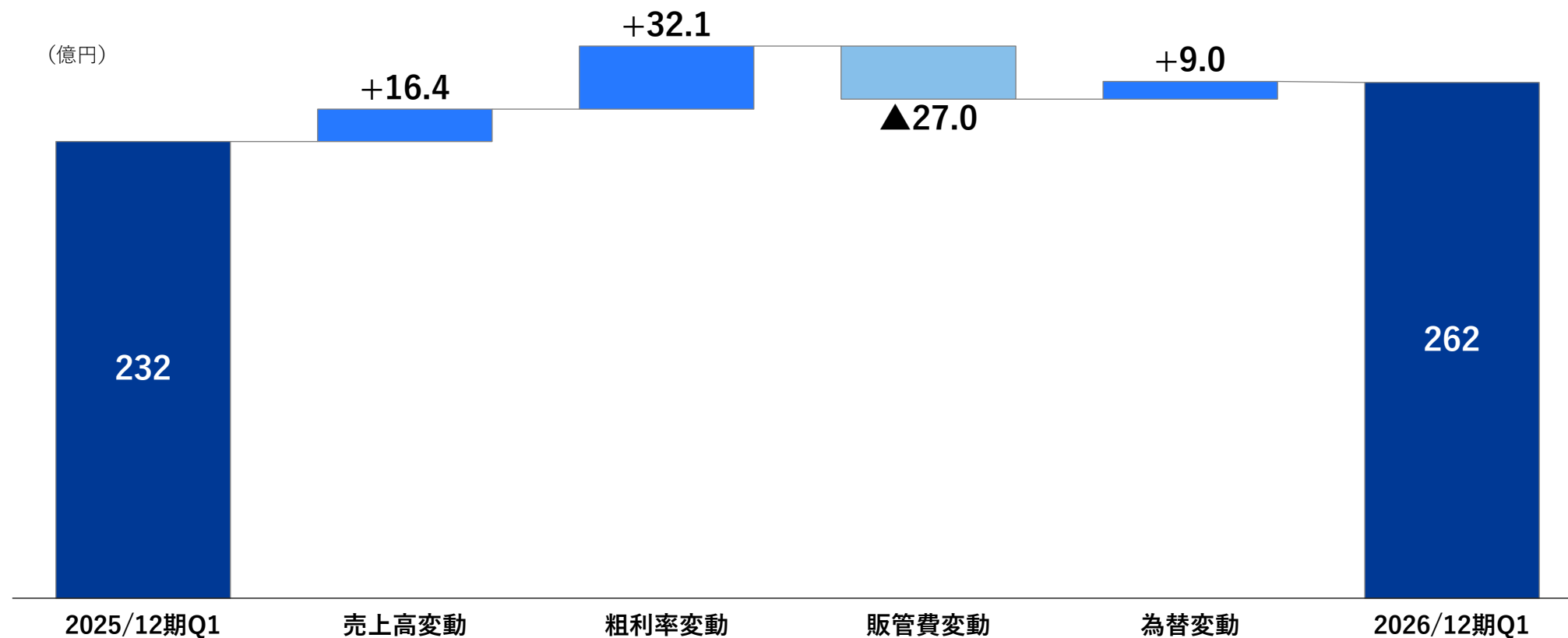
為替影響

受注高 約+70億円

売上高 約+53億円

営業利益 約+9億円

生産効率化・コストダウンの進展による粗利率の向上が、人的資本投資や研究開発強化による販管費の増加を吸収し増益。



ダイフク

ポイント
1

受注は、半導体生産ラインおよび自動車生産ライン向けシステムが大きく増加。売上・セグメント利益は、豊富な前期末受注残高を背景に推移したものの、前年同期の実績に届かず。

Clean Factomation

ポイント
3

受注は、生成AI向け先端半導体投資の需要拡大により大きく増加。売上・セグメント利益は、豊富な前期末受注残高をベースに大きく増加。

ポイント
2

Daifuku North America

受注は、空港向けシステムを中心に大きく増加。

その他

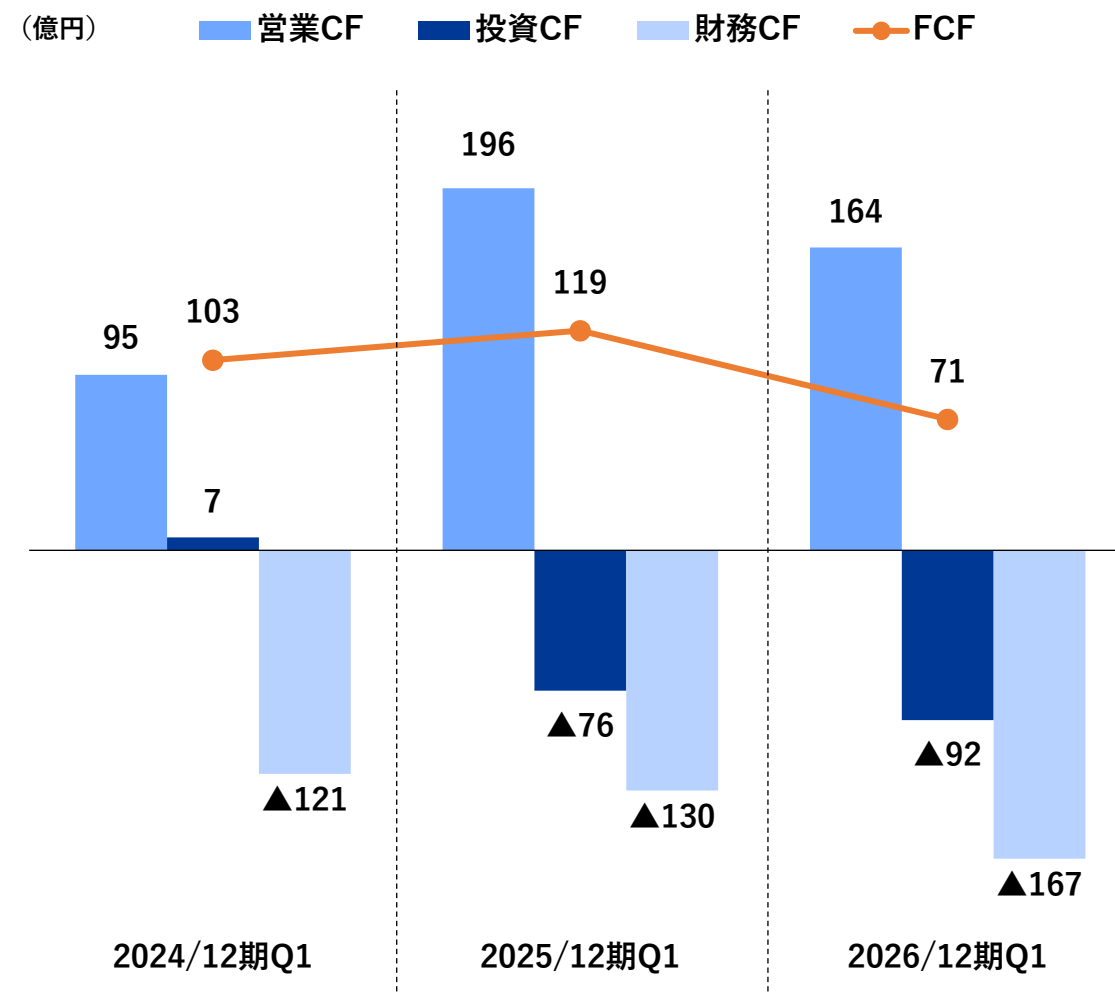
ポイント
4

受注は、半導体生産ライン向けシステムを中心に増加。売上・セグメント利益は、前期末受注残高をベースに同システムを中心に好調に推移し増収増益。

(億円)	受注高 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	2025/12期Q1	2026/12期Q1	増減額	2025/12期Q1	2026/12期Q1	増減額	2025/12期Q1	2026/12期Q1	増減額
ポイント 1 ダイフク	525	646	+120	686	579	▲106	163	139	▲24
コンテック	40	62	+21	47	57	+9	2	3	+0
ポイント 2 Daifuku North America	374	640	+266	399	402	+3	39	25	▲13
ポイント 3 Clean Factomation	105	331	+226	84	202	+117	6	33	+27
Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation	103	111	+8	105	75	▲29	27	18	▲9
ポイント 4 その他	282	422	+139	283	411	+128	19	56	+36
連結調整等	—	—	—	▲3	▲1	+1	▲90	▲81	+9
合計 (調整後)	1,431	2,213	+782	1,602	1,727	+124	168	194	+26

連結貸借対照表、連結キャッシュ・フローの推移

(億円)	2025年12月末	2026年3月末	増減額
流動資産	5,837	5,628	▲209
現金及び預金	2,612	2,518	▲93
売上債権	2,389	2,297	▲92
棚卸資産	640	610	▲30
その他	195	201	+6
固定資産	1,704	1,803	+98
資産合計	7,542	7,431	▲110
流動負債	2,271	2,031	▲240
仕入債務	828	710	▲117
契約負債	741	691	▲50
その他	701	629	▲72
固定負債	754	816	+62
負債合計	3,026	2,848	▲178
株主資本	4,025	4,058	+32
純資産合計	4,515	4,583	+67
負債・純資産合計	7,542	7,431	▲110

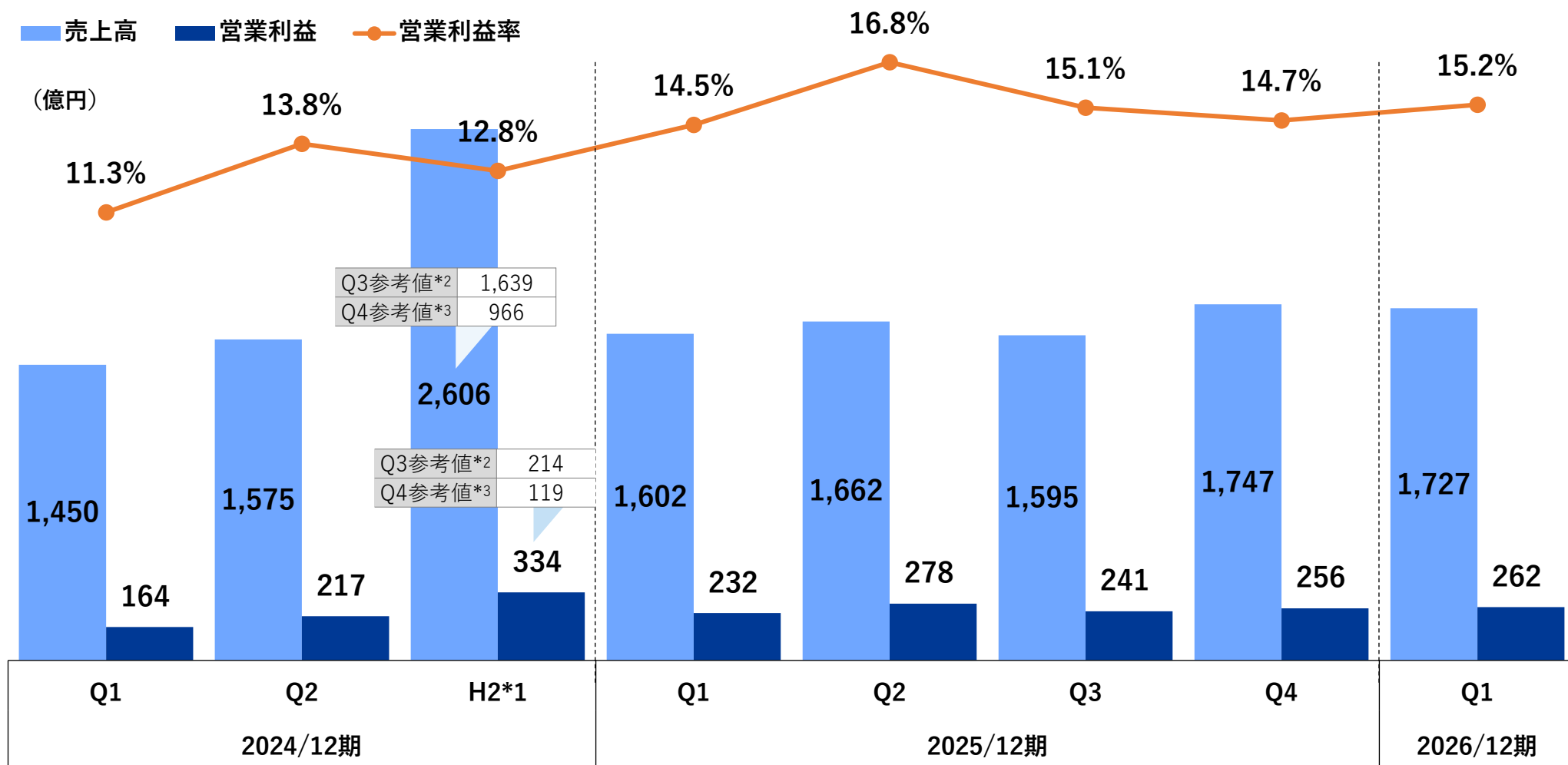


仕向地別受注高・売上高

(億円)	受注高					売上高				
	2025/12期Q1	構成比	2026/12期Q1	構成比	増減額	2025/12期Q1	構成比	2026/12期Q1	構成比	増減額
日本	385	26.9%	446	20.2%	+60	493	30.7%	439	25.4%	▲54
海外	1,045	73.1%	1,767	79.8%	+721	1,112	69.3%	1,289	74.6%	+177
北米	388	27.2%	658	29.8%	+270	419	26.1%	434	25.1%	+14
アジア	601	42.0%	1,034	46.7%	+432	613	38.2%	773	44.7%	+159
中国	251	17.6%	215	9.7%	▲35	237	14.8%	204	11.8%	▲32
韓国	116	8.1%	343	15.5%	+226	113	7.1%	214	12.4%	+100
台湾	186	13.1%	435	19.7%	+248	191	11.9%	226	13.1%	+34
その他	46	3.2%	39	1.8%	▲7	70	4.4%	128	7.4%	+57
欧州	16	1.2%	23	1.1%	+7	34	2.1%	43	2.5%	+8
中南米	2	0.2%	3	0.1%	+0	7	0.5%	9	0.5%	+1
その他	35	2.5%	47	2.1%	+11	37	2.4%	30	1.8%	▲6
小計	1,431	100.0%	2,213	100.0%	+782	1,606	100.0%	1,728	100.0%	+122
連結調整等	-	-	-	-	-	▲3	-	▲1	-	+1
合計	1,431	-	2,213	-	+782	1,602	-	1,727	-	+124

(億円)	受注高					売上高				
	2025/12期Q1	構成比	2026/12期Q1	構成比	増減額	2025/12期Q1	構成比	2026/12期Q1	構成比	増減額
自動車及び自動車部品	150	10.5%	182	8.2%	+31	207	12.9%	190	11.0%	▲16
エレクトロニクス	540	37.8%	1,019	46.1%	+479	584	36.4%	716	41.4%	+131
商業及び小売業	273	19.1%	212	9.6%	▲61	340	21.2%	285	16.5%	▲54
運輸・倉庫	33	2.3%	92	4.2%	+58	78	4.9%	88	5.1%	+10
機械	22	1.6%	16	0.7%	▲6	18	1.2%	26	1.5%	+7
化学・薬品	66	4.6%	58	2.6%	▲8	57	3.6%	73	4.2%	+15
食品	60	4.3%	38	1.8%	▲21	64	3.9%	58	3.4%	▲5
鉄鋼・非鉄金属	8	0.6%	16	0.8%	+8	19	1.2%	12	0.7%	▲6
精密機器・印刷・事務機	20	1.4%	15	0.7%	▲4	13	0.8%	16	1.0%	+3
空港	181	12.7%	523	23.7%	+342	173	10.8%	199	11.5%	+26
その他	72	5.1%	37	1.6%	▲35	48	3.1%	60	3.7%	+11
小計	1,431	100.0%	2,213	100.0%	+782	1,606	100.0%	1,728	100.0%	+122
連結調整等	—	—	—	—	—	▲3	—	▲1	—	+1
合計	1,431	—	2,213	—	+782	1,602	—	1,727	—	+124

四半期売上高・営業利益の推移



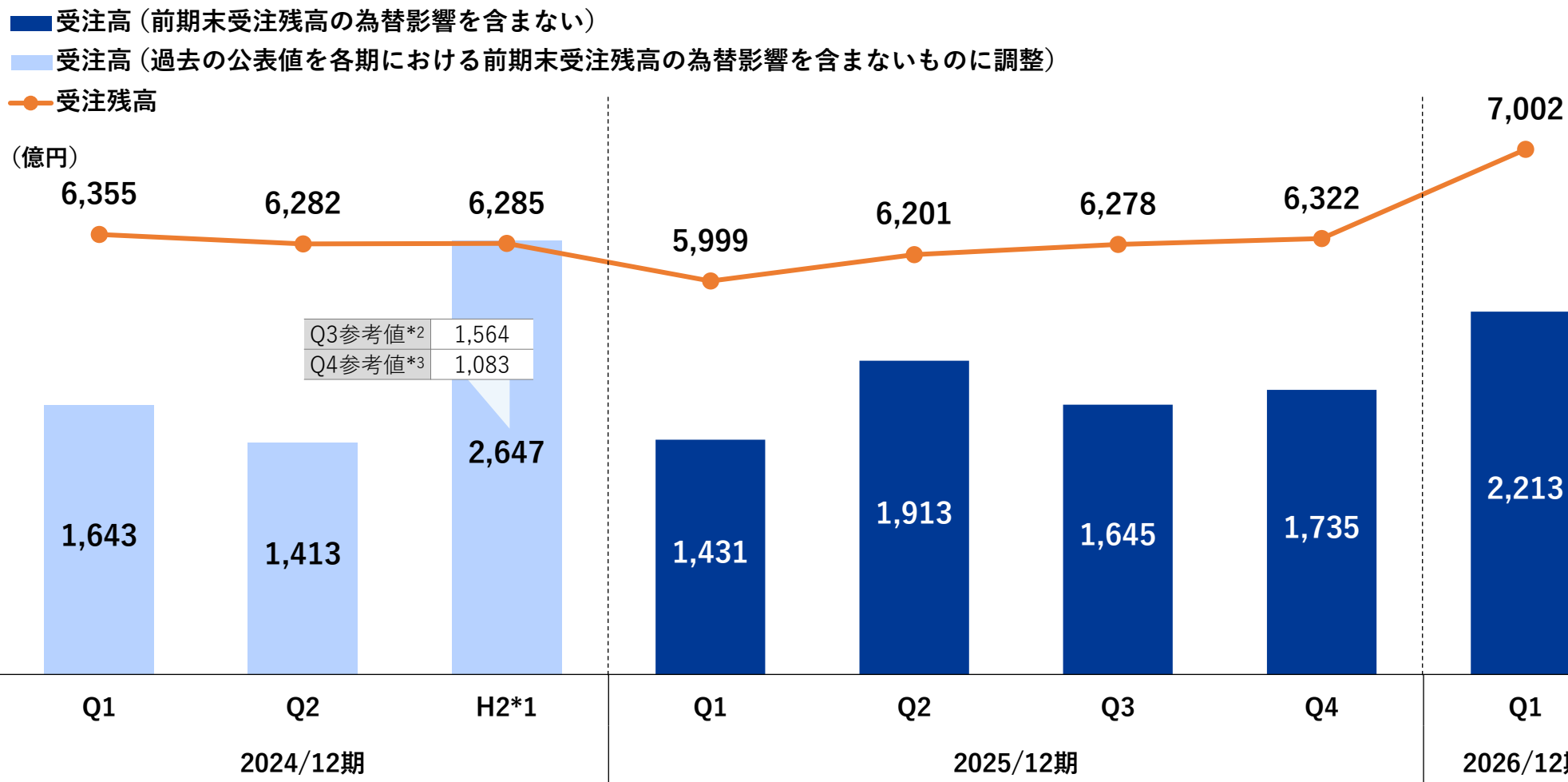
2024年12月期：決算期変更に伴う変則決算

*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。

*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。

四半期受注高・受注残高の推移

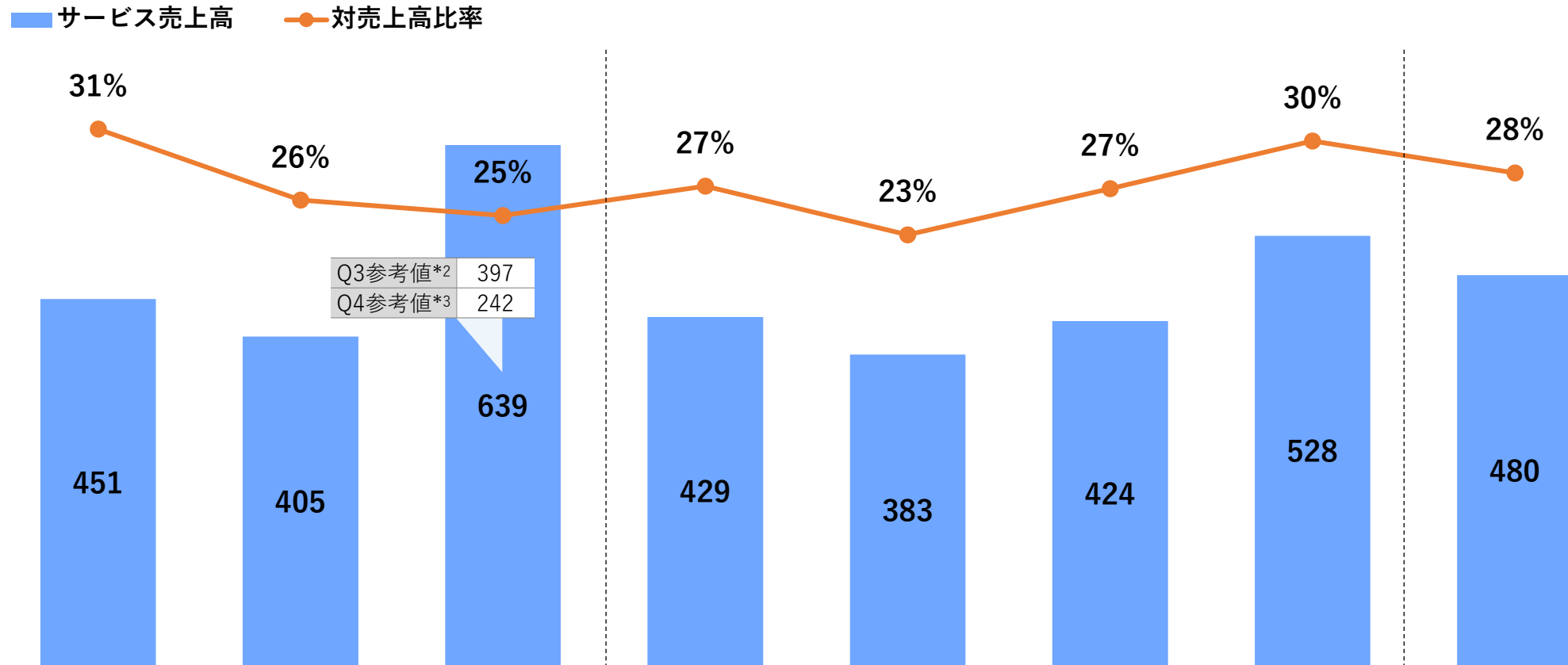


2024年12月期：決算期変更に伴う変則決算

*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。

*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。



(億円)	2024/12期			2025/12期				2026/12期
	Q1	Q2	H2*1	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
通期合計 (対売上高比率)	1,497 (27%)			1,766 (27%)				1,945 (予想) (28%)

2024年12月期：決算期変更に伴う変則決算

*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。

*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。 *3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。

02

業績予想

2026年12月期 予想

受注高

通期

7,800~8,200億円

2月公表より

修正なし

前年同期比

+1,073~ +1,473億円

+16.0~+21.9%

売上高

上期

3,300億円

通期

7,000億円

2月公表より

100億円上方修正

修正なし

前年同期比

+35億円

+1.1%

前年同期比

+392億円

+5.9%

営業利益

上期

480億円
営業利益率 14.5%

通期

1,050億円
営業利益率 15.0%

2月公表より

55億円上方修正

修正なし

前年同期比

▲31億円

▲6.1%

前年同期比

+41億円

+4.2%

第1四半期の受注は概ね計画通りに推移。

上期予想は、前期末受注残高をベースに案件が順調に進捗していることに加え、一部案件の進行が前倒しで推移していることから上方修正。通期予想は、上期の上方修正が期中での前倒しによる影響が主因で、外部環境の不確実性も踏まえ、据え置き。

増収効果により、上期予想を上方修正。通期予想は売上高同様に据え置き。

2026年12月期 連結業績予想

(億円)	2025/12期		2026/12期 予想									
	上期 [a]	通期 [b]	上期			前年同期比 (c-a)		通期			前年同期比 (d-b)	
			2/12 公表	5/14公表 [c]	前回比	増減額	増減率	2/12 公表	5/14公表 [d]	前回比	増減額	増減率
受注高	3,344	6,726	—	—	—	—	—	7,800~ 8,200	7,800~ 8,200	0	+1,073~ +1,473	+16.0%~ +21.9%
売上高	3,264	6,607	3,200	3,300	+100	+35	+1.1%	7,000	7,000	0	+392	+5.9%
営業利益	511	1,008	425	480	+55	▲31	▲6.1%	1,050	1,050	0	+41	+4.2%
営業利益率	15.7%	15.3%	13.3%	14.5%	+1.2pt	▲1.2pt	—	15.0%	15.0%	0.0pt	▲0.3pt	—
経常利益	525	1,046	440	490	+50	▲35	▲6.7%	1,085	1,085	0	+38	+3.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	376	780	353	370	+17	▲6	▲1.7%	800	800	0	+19	+2.4%
当期純利益率	11.5%	11.8%	11.0%	11.2%	+0.2pt	▲0.3pt	—	11.4%	11.4%	0.0pt	▲0.4pt	—
一株当たり当期純利益 (円)	102.32	212.39	96.00	100.62	+4.62	▲1.70	▲1.7%	217.57	217.57	0.00	+5.18	+2.4%

2026年12月期の想定為替レートは期初前提の対米ドル150円を据え置き。

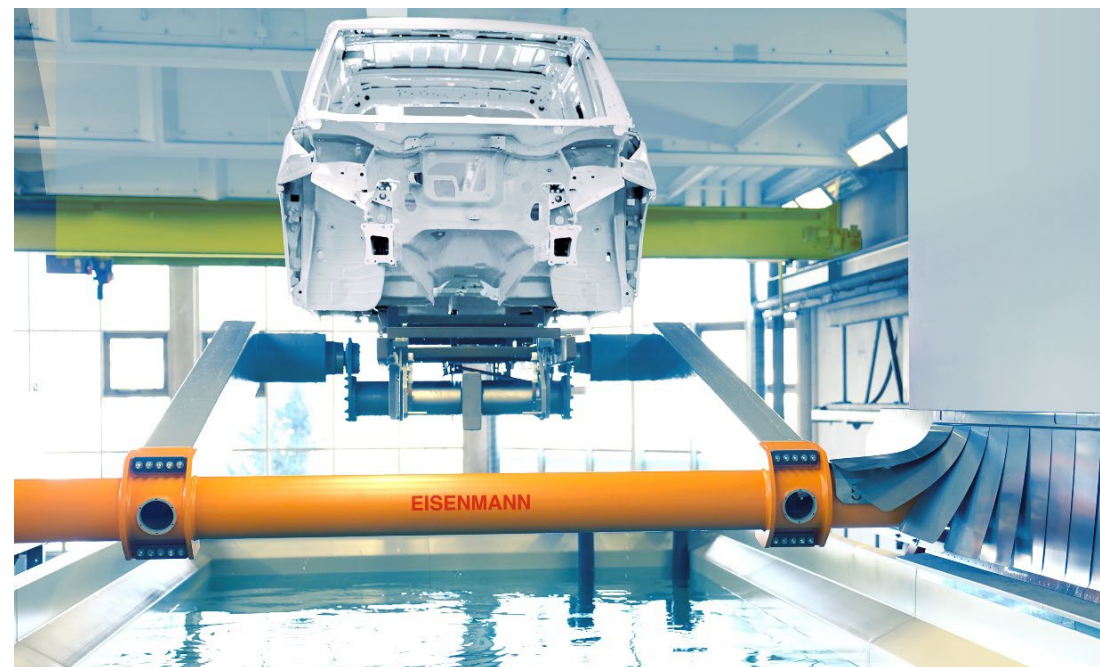
03

トピックス

2026年4月17日、当社取締役会において、EISENMANN GmbH（ドイツ）（以下、同社）の全株式を取得し、子会社化することを決議。株式取得日は7月を予定しています。欧州自動車、産業部品メーカーを中心に『高度な自動化技術』と『環境負荷を低減する独自ソリューション』を有する同社を当社グループに迎え入れ、欧州規格に対応したシステムソリューション力の強化、拡充および欧州市場における事業基盤の拡充を図ります。当社グループのオートモーティブ事業（自動車生産ライン向けシステム）における提案の幅を広げ、お客さまへの提供価値の向上および受注機会の拡大に繋げていきます。

EISENMANN GmbHの概要

所在国	ドイツ
事業内容	産業用塗装・表面処理設備および搬送システムの設計・エンジニアリング
設立年月日	2020年（創業1951年）
従業員数	283名（2025年12月時点）
連結売上高	約65百万ユーロ（2025年12月期速報値）



同社製品（塗装ライン向け自動車ボディ前処理設備）

2026年4月、滋賀事業所において、クリーンルーム事業（半導体生産ライン向けシステム）の新工場棟が竣工しました。AIの利用拡大に伴う半導体需要の増加に対応するため、生産能力の増強と開発力の強化を図りました。同事業の国内生産能力は従来比1.3倍増となります。生産工程の高度化を継続的に進めるとともに、開発エリアにおいては、半導体工場のクリーンルーム環境を再現したテストラインを設け、現場での調整時間の削減、納期の短縮を図るとともに、高さ約20mの高層構造とすることで、大型製品や後工程向けの開発を加速していきます。

新工場棟の概要

建築面積	1万9,600㎡
延べ床面積	2万1,400㎡ (生産・開発エリア：1万6,800㎡、 事務所エリア：3,400㎡)
主な機能	半導体生産ライン向け搬送・保管システムの 生産および開発



新工場棟外観

先端技術の研究開発拠点「東京Lab」を開設

2026年3月、当社は2025年の京都Lab開設に続き、先端技術の研究開発拠点として「東京Lab」を東京都港区に開設しました。「マテハン設備の知能化」の基幹技術となるフィジカルAI、その中核となるロボット基盤モデルの構築および各種人手作業を代替できるロボティクス技術の確立により、物流センターや工場の完全無人化の実現を目指します。

開設当初の人員は約30名とし、2027年度には50名体制に拡充する計画です。今後は大学や研究機関、スタートアップとの連携も強化し、成果を全社へスピーディーに展開します。国内の研究開発拠点は、マザー工場の滋賀事業所を含め3拠点体制となります。



セミナーなどが開催できる共創エリア



オフィスエリア

DAIFUKU

Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。